

●**生涯学習・芸術文化活動の推進**
2月に開館した生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。
電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学

●**生涯学習・芸術文化活動の推進**
2月に開館した生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。
電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学

●**交通安全対策の推進**
交通安全施設の整備や道路の危険個所の解消に努め、関係機関と連携・協力して、市民の交通ルールや交通マナーの向上に努めてまいります。

●**農林業の振興**
農業生産基盤の整備、地産地消の推進と農産物のブランド化を進め、農家の所得向上を図り、新規就農者の確保や農地の集積による効率化を推進してまいります。
また、農村環境の保全として、優良農地の確保、耕作放棄地の発生予防と解消に取り組むとともに、有害鳥獣対策室と猟友会の連携により、イノシシなどの捕獲や被害防止対策の強化に努めます。

●**観光の振興**
「桜川のサクラ」や「真壁の町並み」「雨引観音」などの歴史・文化資源とともに、地域資源である「ヤマザクラ」や「筑波山地域ジオパーク」「つくば霞ヶ浦りんりんロード」など、市の魅力をPRしてまいります。
特に、市内に自生する55万本のヤマザクラを「日本一のヤマザクラの里」として全国に向け引き続き発信してまいります。

●**生涯学習・芸術文化活動の推進**
2月に開館した生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。
電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学

●**生涯学習・芸術文化活動の推進**
2月に開館した生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。
電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学

●**交通安全対策の推進**
交通安全施設の整備や道路の危険個所の解消に努め、関係機関と連携・協力して、市民の交通ルールや交通マナーの向上に努めてまいります。

●**農林業の振興**
農業生産基盤の整備、地産地消の推進と農産物のブランド化を進め、農家の所得向上を図り、新規就農者の確保や農地の集積による効率化を推進してまいります。
また、農村環境の保全として、優良農地の確保、耕作放棄地の発生予防と解消に取り組むとともに、有害鳥獣対策室と猟友会の連携により、イノシシなどの捕獲や被害防止対策の強化に努めます。

●**観光の振興**
「桜川のサクラ」や「真壁の町並み」「雨引観音」などの歴史・文化資源とともに、地域資源である「ヤマザクラ」や「筑波山地域ジオパーク」「つくば霞ヶ浦りんりんロード」など、市の魅力をPRしてまいります。
特に、市内に自生する55万本のヤマザクラを「日本一のヤマザクラの里」として全国に向け引き続き発信してまいります。

●**生涯学習・芸術文化活動の推進**
2月に開館した生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。
電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学

●**生涯学習・芸術文化活動の推進**
2月に開館した生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。
電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学

●**交通安全対策の推進**
交通安全施設の整備や道路の危険個所の解消に努め、関係機関と連携・協力して、市民の交通ルールや交通マナーの向上に努めてまいります。

●**農林業の振興**
農業生産基盤の整備、地産地消の推進と農産物のブランド化を進め、農家の所得向上を図り、新規就農者の確保や農地の集積による効率化を推進してまいります。
また、農村環境の保全として、優良農地の確保、耕作放棄地の発生予防と解消に取り組むとともに、有害鳥獣対策室と猟友会の連携により、イノシシなどの捕獲や被害防止対策の強化に努めます。

●**観光の振興**
「桜川のサクラ」や「真壁の町並み」「雨引観音」などの歴史・文化資源とともに、地域資源である「ヤマザクラ」や「筑波山地域ジオパーク」「つくば霞ヶ浦りんりんロード」など、市の魅力をPRしてまいります。
特に、市内に自生する55万本のヤマザクラを「日本一のヤマザクラの里」として全国に向け引き続き発信してまいります。

●**生涯学習・芸術文化活動の推進**
2月に開館した生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。
電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学

●**生涯学習・芸術文化活動の推進**
2月に開館した生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。
電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学

●**交通安全対策の推進**
交通安全施設の整備や道路の危険個所の解消に努め、関係機関と連携・協力して、市民の交通ルールや交通マナーの向上に努めてまいります。

●**農林業の振興**
農業生産基盤の整備、地産地消の推進と農産物のブランド化を進め、農家の所得向上を図り、新規就農者の確保や農地の集積による効率化を推進してまいります。
また、農村環境の保全として、優良農地の確保、耕作放棄地の発生予防と解消に取り組むとともに、有害鳥獣対策室と猟友会の連携により、イノシシなどの捕獲や被害防止対策の強化に努めます。

●**観光の振興**
「桜川のサクラ」や「真壁の町並み」「雨引観音」などの歴史・文化資源とともに、地域資源である「ヤマザクラ」や「筑波山地域ジオパーク」「つくば霞ヶ浦りんりんロード」など、市の魅力をPRしてまいります。
特に、市内に自生する55万本のヤマザクラを「日本一のヤマザクラの里」として全国に向け引き続き発信してまいります。

●**生涯学習・芸術文化活動の推進**
2月に開館した生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。
電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学

●**生涯学習・芸術文化活動の推進**
2月に開館した生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。
電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学

●**交通安全対策の推進**
交通安全施設の整備や道路の危険個所の解消に努め、関係機関と連携・協力して、市民の交通ルールや交通マナーの向上に努めてまいります。

●**農林業の振興**
農業生産基盤の整備、地産地消の推進と農産物のブランド化を進め、農家の所得向上を図り、新規就農者の確保や農地の集積による効率化を推進してまいります。
また、農村環境の保全として、優良農地の確保、耕作放棄地の発生予防と解消に取り組むとともに、有害鳥獣対策室と猟友会の連携により、イノシシなどの捕獲や被害防止対策の強化に努めます。

●**観光の振興**
「桜川のサクラ」や「真壁の町並み」「雨引観音」などの歴史・文化資源とともに、地域資源である「ヤマザクラ」や「筑波山地域ジオパーク」「つくば霞ヶ浦りんりんロード」など、市の魅力をPRしてまいります。
特に、市内に自生する55万本のヤマザクラを「日本一のヤマザクラの里」として全国に向け引き続き発信してまいります。

●**生涯学習・芸術文化活動の推進**
2月に開館した生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。
電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学

●**生涯学習・芸術文化活動の推進**
2月に開館した生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。
電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学

●**交通安全対策の推進**
交通安全施設の整備や道路の危険個所の解消に努め、関係機関と連携・協力して、市民の交通ルールや交通マナーの向上に努めてまいります。

●**農林業の振興**
農業生産基盤の整備、地産地消の推進と農産物のブランド化を進め、農家の所得向上を図り、新規就農者の確保や農地の集積による効率化を推進してまいります。
また、農村環境の保全として、優良農地の確保、耕作放棄地の発生予防と解消に取り組むとともに、有害鳥獣対策室と猟友会の連携により、イノシシなどの捕獲や被害防止対策の強化に努めます。

●**観光の振興**
「桜川のサクラ」や「真壁の町並み」「雨引観音」などの歴史・文化資源とともに、地域資源である「ヤマザクラ」や「筑波山地域ジオパーク」「つくば霞ヶ浦りんりんロード」など、市の魅力をPRしてまいります。
特に、市内に自生する55万本のヤマザクラを「日本一のヤマザクラの里」として全国に向け引き続き発信してまいります。

●**生涯学習・芸術文化活動の推進**
2月に開館した生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。
電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学

●**生涯学習・芸術文化活動の推進**
2月に開館した生涯学習センター「さくらす」を拠点に、指定管理者のノウハウを活かし、図書館機能や生涯学習活動の充実を図ります。
電子図書館サービスの利用などを通して、市民が生涯学

●**交通安全対策の推進**
交通安全施設の整備や道路の危険個所の解消に努め、関係機関と連携・協力して、市民の交通ルールや交通マナーの向上に努めてまいります。

●**農林業の振興**
農業生産基盤の整備、地産地消の推進と農産物のブランド化を進め、農家の所得向上を図り、新規就農者の確保や農地の集積による効率化を推進してまいります。
また、農村環境の保全として、優良農地の確保、耕作放棄地の発生予防と解消に取り組むとともに、有害鳥獣対策室と猟友会の連携により、イノシシなどの捕獲や被害防止対策の強化に努めます。

●**観光の振興**
「桜川のサクラ」や「真壁の町並み」「雨引観音」などの歴史・文化資源とともに、地域資源である「ヤマザクラ」や「筑波山地域ジオパーク」「つくば霞ヶ浦りんりんロード」など、市の魅力をPRしてまいります。
特に、市内に自生する55万本のヤマザクラを「日本一のヤマザクラの里」として全国に向け引き続き発信してまいります。

＊CONTENTS

- 02 令和7年度施政方針
- 05 さくらがわ人生応援プロジェクト
- 06 水道事業経営一体化基本協定締結
- 07 まちの話題
- 08 桜川市さくらマラソン大会
- 09 歴史資料館だよりNo.111
- 10 健康ガイド
- 12 情報ひろば
- 15 文芸さくらがわ
- 16 桃山学園通学道路開通／ひなまつりでおもてなし／岩瀬東中が郷土検定優勝

＊表紙

晴れやかに駆けぬける



表紙は、3月9日に桜川市総合運動公園で行われた第20回桜川市さくらマラソン大会を撮影したものです。
20回目の節目を迎えた今大会は昨年を大きく上回る1,455人のランナーが参加し、市内の自然豊かなコースを駆け抜けました。（8ページに関連記事を掲載しています。）

＊桜川市の人口と世帯

【人口】	35,885人	(－56)
【男】	17,865人	(－37)
【女】	18,020人	(－19)
【世帯】	13,554世帯	(＋4)
()は対前月増減		
常住人口		
令和7年3月1日現在		

令和7年度 施政方針

令和7年3月4日～17日の会期で開催された、第1回桜川市議会定例会で、令和7年度の市政運営に向けて、大塚市長が施政方針を述べました。
本月号で、その概要をお知らせします。
なお、令和7年度予算の概要については、来月号に掲載します。



桜川市長 大塚 秀喜

子どもから高齢者まで健康で共生のまちづくり

●子育て支援の充実と少子化対策の推進

少子化の要因の一つとなっている非婚化・晩婚化に対して、結婚の相談、結婚への意識を高めるセミナーや、「さくらす」などで、出会いパーティーを開催し、結婚を希望する男女の支援を行います。

また、新婚生活の支援として「結婚祝い金」を給付してまいります。子育て世代への支援策として「子育て世帯の支援事業として」「子育て3ステップ応援金」を支給してまいります。

●健康づくりの推進

妊娠・出産から子育て期まで、切れ目ない支援を充実させるため、全ての出生児を対

象とした保健師などによる家庭訪問を実施するほか、スマートフォンを利用した小児科医・産婦人科医・助産師によるオンライン・SNS相談を実施して、全ての妊産婦などの孤立感・不安感の解消に努めてまいります。

また、国の「出産・子育て応援交付金」を活用して、経済的な支援を行ってまいります。

●地域医療体制の充実

安心できる地域医療体制の確保のため「さくらがわ地域医療センター」の安定的な運営を進めるとともに、引き続き休日診療対応、各種健診、予防接種などを行ってまいります。また、医療機関の適切な受診、かかりつけ医の推奨などを周知してまいります。

●地域福祉の推進

少子高齢化、核家族化の進行、個人の価値観の多様化な

どにより、地域のつながりが希薄になってきております。市民の皆様の地域福祉の意識を高め、地域で支え合うネットワークの形成や関係団体との協働の仕組みづくりを推進してまいります。

●障がい者福祉の充実

障がいのある方およびその家族が住み慣れた地域で、安心した生活を送ることができるよう、相談支援体制の充実を図り、自立と社会参加への支援を推進するため、各種福祉サービスにより支援の充実を図ります。

●高齢者福祉の推進

「地域包括支援センター」を中心に、相談体制の充実、生活支援体制の整備を図るとともに、医療・介護などが連携する仕組みの構築に努めます。

また、増加傾向にある認知症の早期診断・早期治療、状

生きがいを育む学びのまちづくり

●学校教育の充実

「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた子どもたちを育成するとともに、安心して学べる環境を整備してまいります。
GIGAスクール構想で整

また、市の地場産業である石材業については、市内外の石材関係団体と連携を図り、石材製品の市場や販路の拡大を推進してまいります。

一方「産業立地・雇用促進に関する奨励制度」に基づく優遇措置や遊休地情報を発信し、周辺道路の整備など企業が立地しやすい環境を整え、新たな雇用確保ができるよう企業誘致を推進してまいります。

●観光の振興

「桜川のサクラ」や「真壁の町並み」「雨引観音」などの歴史・文化資源とともに、地域資源である「ヤマザクラ」や「筑波山地域ジオパーク」「つくば霞ヶ浦りんりんロード」など、市の魅力をPRしてまいります。

特に、市内に自生する55万本のヤマザクラを「日本一のヤマザクラの里」として全国に向け引き続き発信してまいります。

また、「上野沼やすらぎの里キャンプ場」の利用の促進を図りつつ「筑波高原キャンプ場」の老朽施設の解体に取り組み、場内の環境整備を行ってまいります。

快適な

暮らしのまちづくり

●計画的な土地利用の推進

桜川筑西インターチェンジ周辺地区における新たな都市拠点の形成を推進し、社会情勢の変化に即した適正かつ合理的な都市計画制度の見直しを行ってまいります。

●景観の良い住環境の保全

引き続き「定住促進助成金交付事業」を実施し、市内で住宅を取得した場合、最大で200万円の助成金を交付することにより、定住人口の増加を図ります。

また「桜川市空家等対策計画」に基づいて、市民が安全安心に暮らせる生活環境の確保と地域社会の活性化を目的に、空家対策の推進と利活用の促進を図ります。

●道路網の整備

一級市道の整備を、国・県の補助などを活用し、年次計画に沿って順次進め、市民の皆様からの要望が多いその他の市道や排水整備は、緊急性・必要性を勘案しながら整備してまいります。

さらに、道路や橋梁の補修・

修繕などは、安全確保を図るため迅速に対応してまいります。

●公共交通の充実

市民の皆様が安心して暮らし続けることができる公共交通の確保に努めてまいります。

また、市民の皆様の買物や通院の移動手段としてご利用いただいている「ヤマザクラGO」は市内の南北を結ぶ基幹路線であり、さらなる利便性の向上を図ってまいります。

また、高齢者や運転免許をお持ちでない方を対象に、タクシー運賃の一部を助成し、交通弱者の移動手段を確保してまいります。

●下水道の整備

水洗化の普及促進に取り組み、効率的な事業運営を図り、接続率の向上を目指してまいります。

●上水道の整備

給水人口の減少や施設の老朽化などから厳しい経営環境にありますが、安全でおいしい飲料水を安定的に供給するため、市の指針となる「水道ビジョン」や「経営戦略」に基づき、水質管理や老朽施設

などの改善を図りつつ、将来にわたり安定的かつ効率的な水の供給に向け、広域での経営統合を進めてまいります。

●廃棄物の抑制と適切な処理

市民の皆様や事業所などの環境保全に対する理解と協力のもと、適正な廃棄物処理、資源ごみの再利用、リサイクルによる循環型社会の構築を進めてまいります。

●生活環境の保全

「桜川市地球温暖化対策実行計画」に基づき、地球温暖化をはじめとする環境問題に積極的に取り組み、環境保全のための意識啓発に努めてまいります。

特に、不法投棄につきましましては、引き続き監視指導体制の強化を図ってまいります。また、水質の監視強化に努め、悪臭や野焼きなどの公害苦情に対する指導強化や、マナーアップの意識啓発を図ってまいります。

みんなで築く

自治のまちづくり

●市民協働のまちづくり

SNSなどの媒体を活用し、定期的かつ効果的に市の

情報発信を行うとともに、市民の意見が反映される仕組みづくりを推進し、市民と市が協働でまちづくりを進め、NPOやボランティア団体の活動も支援してまいります。国際交流事業では、友好交流都市との交流を通して市民文化の向上、国際親善の促進を図ります。

●人権尊重のまちづくり

人権への理解を深めるため、人権相談を実施するとともに、啓発・キャンペーン事業を推進し、人権意識の高揚を図ってまいります。また、広報活動や講演会の開催を通して、男女共同参画の意識向上に努めてまいります。

●時代に合った自治体運営

第2次総合計画に基づき、計画的に施策や事業を実施し、効果的な行政運営を図ってまいります。

また、新庁舎整備にあわせ、現在の庁舎が抱えている課題を解決し、市民サービスの向上が図れるよう取り組んでまいります。

あわせて、IT技術の導入やネットワーク化などのDXを推進することにより、市民の利便性の向上を図ってまい

ります。

●組織経営と

人事マネジメントの充実

職員の能力開発や人材の育成を図るとともに、効率的な行政運営に向けて、行政サービスの向上を図ってまいります。

●健全な財政運営の推進

市の魅力ある特産品などを発掘し、皆様に選んでいただける返礼品を取り揃えて「ふるさと納税」につなげてまいります。

また、市の地方創生に向けた取り組みを発信し、それらの財源となる「企業版ふるさと納税」による法人からの支援もお願いしてまいります。

さくらがわ

人生応援プロジェクト

市は過疎地域に指定され、人口減少対策は最重要課題です。これに対応するため令和5年度からスタートした「さくらがわ人生応援プロジェクト」に、今年度5つの事業を追加しました。詳しくは、次ページでご説明します。